

鳥羽伊良湖航路活性化協議会会議録

会議の名称	平成23年度第1回鳥羽伊良湖航路活性化協議会
開催日時	平成23年5月18日(水) 13:30~14:45
開催場所	伊勢湾フェリー鳥羽ターミナル 2階多目的ホール
議題	1. あいさつ 2. 変更のあった委員の紹介 3. 平成22年度決算報告 4. 航路利用状況報告 5. 平成23年度事業計画の推進及び幹事会の設置 6. その他
会議資料	【資料1】委員名簿 【資料2】平成22年度鳥羽伊良湖航路活性化協議会収支決算 【資料3】鳥羽伊良湖航路輸送実績 【資料4】平成23年度鳥羽伊良湖航路活性化事業の取組状況一覧 【資料5】鳥羽伊良湖航路活性化協議会幹事会の設置について(案)
公開・非公開の別	冒頭部分のみ公開
傍聴人の数	7人
出席委員	木下会長、山下委員、下村委員、渡邊委員、福武委員、高島委員、松井委員、兼松委員(代理)、笠谷委員、加藤委員、田中委員、小見山委員(代理)、柴崎委員、杉浦委員、森下委員(代理)、傍島委員、山本委員、田邊委員(代理)
欠席委員	大羽委員、高木委員、安島委員、伊藤委員、清水委員
事務局	[鳥羽市企画財政課]松村、中村、奥村 [鳥羽市観光課]齋藤 [田原市政策推進課]高野 [田原市商工観光課]一ツ田、河邊

1. あいさつ

○木下会長

新年度になり、異動などにより代わられた委員の方も見えるので、昨年度の活動を少しご紹介する。本協議会は、鳥羽伊良湖航路の維持・活性化策について協議していくために、委員の皆様のご協力を得て、平成22年10月に設置させていただいたもので、昨年度は、航路の現況調査・分析、ニーズ調査等により課題を整理し、航路の維持活性化の目標、方策を取りまとめた「鳥羽伊良湖航路活性化総合連携計画」を策定させていただいた。

計画の内容としては、学識経験者の皆様を中心に、本航路でつながる両地域の新たな観光価値を作り出していくことがこの航路の活性化には大切であり、両地域をともに訪れる必然性が必要だというご意見を頂戴し、少し観光活性化に近い計画内容として取りまとめをさせていただいた。

そこで本日は、事項書にあるように、平成22年度の決算報告をした後、計画に位置づけている今年度の事業計画の取り組みや、今後旅行商品づくりとそのPRについて専門的に協議し取組を進める「幹事会」の設置について、皆さんにご意見を賜りたいと考えている。

2. 変更のあった委員の紹介【資料1】

(資料1に基づき委員自己紹介)

3. 平成22年度決算報告【資料2】

○木下会長

平成22年度決算報告について事務局より報告する。なお、本日は監事の清水委員が欠席で、田原市商工会の鈴木参事も委員を変更となったため、監査結果も事務局より報告する。

○事務局

(資料2に基づき報告)

○木下会長

説明した決算報告について、質問はないか。(質問なし。) それでは、平成22年度決算についてご承認いただける方は挙手いただきたい。

(挙手全員により承認)

4. 鳥羽伊良湖航路輸送実績【資料3】

○木下会長

次に、航路利用状況の報告に移る。伊勢湾フェリーから報告願う。

○稲吉部長(伊勢湾フェリー(株))

(資料3に基づき説明) 平成22年度の総旅客数は、前年度比9.2%増の385,545人であった。欠航した便の数は140便で、欠航率は2.25%であった。平成23年ゴールデンウィーク(4月29日~5月8日)の総旅客数は、前年比2.7%減の29,063人であった。

○木下会長

伊勢湾フェリーから輸送実績を説明いただいたが、ご質問はないか。

○加藤委員

二輪車はバイクと自転車ということでよいか。また、バイクと自転車で料金は異なるのか。

○稲吉部長

二輪車はバイクと自転車で、自転車は1,000円、バイクは125CC以下1,500円、750CC未満2,000円、750CC以上2,500円である。これは荷物としての料金で、他に人の運賃として大人1,500円プラスとなる。

○加藤委員

サイクル&シippライドの事業計画の話もあるが、二輪車の昨年度実績を会社ではどのように捉えているか。また欠航の告知は電話による問い合わせ以外ではどのようにすれば分かるか。

○稲吉部長

公共交通機関、観光施設、宿泊施設へは一斉FAX及び電話により告知している。ホームページも欠航の判断をした際には直ぐに情報アップしている。また誘導看板を設置している中に運航状況を掲示しているものもあるので、看板を管理している方に連絡し欠航の情報を掲示してもらおうようにしている。

○加藤委員

欠航率は、他の航路に比べ多いのか少ないのか。

○稲吉部長

22年度の欠航率は近年の中では高いほうで、通常は1%台前半である。

○福武委員

欠航率は、他の航路と比べても低いほうだと認識している。

○田中委員

昨年度実績について、会社はどのように考えているのか。

○福武委員

21年度と比較すると約32,000人の利用増があった訳だが、大きな要因として昨年3月に廃止表明を行ったことが、逆にPR効果となったと考えている。このため9月までは非常に好調であったが、10月以降貯金を食いつぶした形になった。欠航が下期に多かったことも影響している。あらためてPRの重要性を認識させられた。

○松井委員

ゴールデンウィーク中のトラックの利用実績が増加している。観光目的のバスや乗用車と異なり、物流のトラックは変動が少ないと思うが、このゴールデンウィーク中にトラックの利用が増加した要因をつかんでいるか。トラックが増加する仕掛けが何かあったのか。

○稲吉部長

鮮魚の漁獲が好調であったため、清水港への運搬車が増えたことによる。

○笠谷委員

本航路について、利用者数に与える天候の影響を聞かせていただきたい。

○福武委員

鳥羽では雨でも行ける水族館という施設の恩恵もあり、天気を与える影響は他の観光地に比べると小さいと感じている。しかし、天候は大きな要因であり、もちろん晴れのほうがいいが、ゴールデンウィークに関しては曜日周りの影響も大きい。連休がどのようにとれるかにより出足が違う。

○森下委員

一昨年、フェリーで映画の撮影があったと思うが、その効果はあったと見ているか。また、映画を利用したPRは考えていかないのか。

○福武委員

撮影期間中はファンの方の利用も見られたものの、現在ポスター等を貼ったりしても、あまり反応はない。それほど大きな効果は出なかったと見ている。

5. 平成23年度事業計画の推進及び幹事会の設置

○木下会長

次に、平成23年度事業計画の推進及び幹事会の設置について、事務局より説明する。

○事務局

(資料4、資料5に基づき説明)

○木下会長

何かご意見、ご質問はないか。

○小見山委員

誘導看板について、伊勢神宮内宮(宇治浦田)の有料駐車場内に設置することはいかがか。また、私は伊勢志摩学生団体誘致委員会の委員長をしており、関東・静岡方面からの獲得に努めている。5校ほど新規獲得が進んでいるが、そちらに今年度の事業となっている遠足等の助成を適用できるか。

○事務局

宇治浦田駐車場への看板設置については、昨年度からいただいている話ですので、設置に向けて進めていきたい。遠足については三重県、愛知県内の団体に限らず予算の範囲内で助成することとしている。必ず会社に情報が入るので、そこで把握し助成が出来るよう準備をしている。

○田中委員

直近の大きな話題として、6月に伊勢自動車道の無料化終了、高速道路の上限2千円廃止が予定されている。それに合わせたPRやマーケティングを展開していかなければならないと思うし、7月以降にどういった広告宣伝を打っていくかも早急に検討しなければならないので、幹事会を早急に開き、喫緊の課題として協議していく必要がある。

○事務局

幹事会の中ではテーマやロードマップづくりを行うことももちろんであるが、8月は大きなマーケットなので、団体旅行の企画についても並行してやっていく。その中で無料化の廃止などに対しどういう魅力をアピールしていくのか、検討しながら進めたい。幹事会は早急に開催できるよう調整する。

○渡邊委員

公共交通利用モデルルート of 作成事業について、スケジュールでは約1ヶ月で作成することとしているが、鳥羽も田原も地域公共交通会議を持っているので、どのような体制で作成していくのか。

○事務局

ホームページのコンテンツとして、公共交通を利用したおすすめコースの紹介を出来ればと考えており、スケジュールはホームページ改修から逆算している。実際にどのように回れるのかについては、鳥羽側は事務局でダイヤの確認をし始めたところであるが、田原側との具体的調整はまだ始めている。それぞれの地域公共交通会議とどのように関連付けながらコース作りをしていくかは、田原市事務局と調整しながら進めていきたい。

○柴崎委員

インバウンドツアーについては、現在の大震災の影響で、今年度の誘客は少し厳しいのではないかと考える。国内旅行商品企画造成に予算を回してはいかがか。

○事務局

誘導看板設置の話を見せていただいたが、現地調査の結果、思っていたよりも沢山の箇所に設置しないと観光拠点からうまくフェリーに誘導できない可能性があり、こちらへ使わせていただくことを考えている。また、遠足のほうもフェリーさんの営業努力により、かなりの学校数を獲得されているので、こちらにも使っていきたい。

○加藤委員

説明のあった中で誘導看板の標記については「伊勢湾フェリー乗り場」ではいけない。行き先を標記するのが基本である。先日は淡路に行ったが「フェリー乗り場(〇〇方面)」という案内であったと思う。分からない人から見ると「伊勢湾を周遊するフェリーかな」と思われる恐れがあるので注意していただきたい。またもっと広域に考え、南紀方面からフェリーに誘導できるよう、設置エリアの拡大も検討が必要であると思う。ちなみに今日最寄りの中之郷駅からターミナルに徒歩で来たが、案内看板が何もないということも申し添えたい。

○事務局

看板への標記については、事務局でも思案の最中である。どこの地名を出せばよいかを、また田原さんと相談させていただきたい。設置箇所の広域化については貴重なご意見として承りたい。ただ、先程申し上げたように今年度の予算では少し厳しいので、設置箇所の検討も含め後年度で対応していきたい。予算が何とかなるようであれば、今年度考えたい。

○加藤委員

中之郷からはフェリーも市営定期船へも案内がない。今は待っていたらお客さんは来てくれないので、

きちんと案内をすることは大切である。道路上の案内も含め、再度見直しをしてもらいたい。

○鳥羽海事事務所から

朝のNHKで公共交通の運航情報を流しているが、そこに伊勢湾フェリーのことも流してもらえるようにできるとよいのではと思う。無料であるので一度投げかけてみてはいかがか。

○木下会長

一度NHKと話をしてみようと思う。

6. その他

○木下会長

それでは、6のその他の項に入るが、せっかくの機会なので、委員の皆様から何かありましたらご発言をお願いします。

○事務局（田原市）から

豊橋市のフェリー利用促進事業について説明する。昨年度も豊橋市ではフェリーの半券で公共施設の割引を実施していたが、今年度はご当地グルメのカレーうどんとのセット割引を実施する。また7月から広報に掲載していくのでご活用いただきたい。

○木下会長

事務局から何かあるか。

○松村事務局長

事務局より2点連絡がある。1点目として、本日の結果概要について、今配布した内容により報道発表をしたいと考えているので朗読する。（資料朗読）この内容で発表させていただくことでよいか。（了承）

続いて2点目だが、今後当面の間、旅行商品づくりとそのPRに関しては幹事会で取組を推進していくこととさせていただくが、全体会議としては年度末に1回とその間に中間報告を1回実施させていただこうと思っている。中間報告となる第2回の会議についても早めに日程調整をさせていただくので、参加方よろしくをお願いします。

○木下会長

これで平成23年度第1回鳥羽伊良湖航路活性化協議会を終了する。